



ドクター板東の メディカルリサーチ

~古き良き 空気と文化 ネパールは~

Vol. 73

<http://hb8.seikyou.ne.jp/home/pianomed/>



図1

深い繋がりが。私と同級生の内藤毅氏（徳大眼科）は、長年ボランティアで数多の手術を施行。また、芸術療法の先輩・中西昭憲氏は、同国の僧侶6名を徳島に招聘。精力的に募金を集めて同国に学校を建設し電気を開通させるなど、国際貢献が続いている。

ネパールと聞くと、あなたは何を思い浮かべるだろうか？世界最高峰のエベレスト、登山隊、雪、映画、仏教など。首都はカトマンズで、私が大好きな歌手ユーミンが本テーマで全国ツアを行ったことも。高地にあって天に近く、清々しい空気と崇高なイメージ、民族音楽。憧れてしまう。

実は、同国は徳島と從来

多くの仏像など歴史的に文化的に貴重な品々が多数あり。中でも興味深く感じたことがある。日本の七福神のように、多くの仏様がおられるようだ（図5）。おそらく、人々の幸福のため、役割分担しているのである。

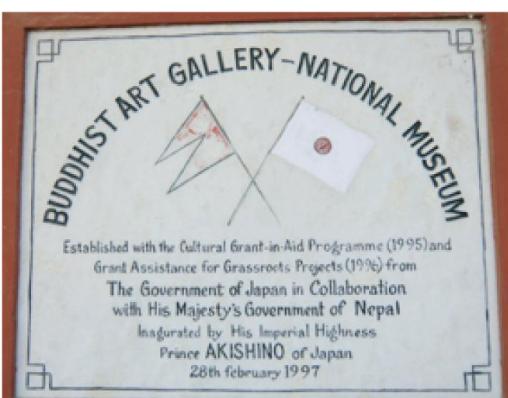


図4



107. Halahala Lokesvara

106. Halahala Lokesvara

次にタクシーで駆けつけたのが郊外にある自然博物館である。ちょうど、小学生活のグループと重なり、混雑していた。しかし、学芸



図2

国立博物館と秋篠宮の援助により建立されたと記載がある。

1997年に日本政府および秋篠宮（Prince AKISHINO）の援助により建立されたと

丸の旗を発見（図4）。1

997年に日本政府および秋篠宮（Prince AKISHINO）の援助により建立されたと

寄る博物館へ。ガイドと同じ写真の建物がある（図3）。足を踏み入れようと思ったとき、入口右に、日の



図3

員がわざわざ日本人風の私に声をかけてくれて、説明して下さると（図6）。

目の前にある真っ白い剥製の鳥が、白いカラス（white crow）。突然変異によるもので非常に珍しい。また、獣医学的にも貴重と考えられる像の胎児などもみられた（図7）。

中でも、日本の方々には是非とも伝えて欲しいというものが。100-300万年前の像の上顎と下顎の化石である（図8～9）。学名は *Elephas (Archidiskodon) planifrons* であり、おおむね図10、11のような姿と推測されている。

詳細に尋ねると、本館は



図6



図7

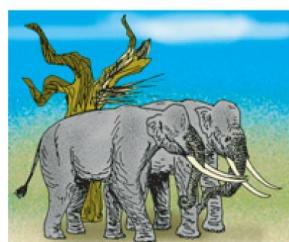


図8

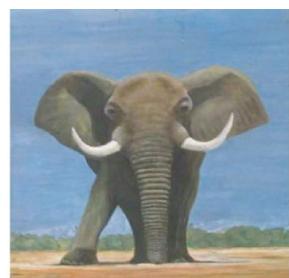


図9



図10



図11

日本のジャイカ (JICA) の支援により運営されていること。こんな遠い国まで来て、主要な2つの国立博物館を以前から日本がサポートしていたとは、全く知らなかつた。こんな地道な援助が、ネパールで親日家が多い一因かもしれないと思った次第である。

民族舞踊と音楽
首都カトマンズには、ネパール料理を楽しみながら、民族舞踊を鑑賞できるレス

ストランが2カ所ある。まず、料理は豆やトリなどがスペシャリティで秀逸だ。珍しかったのは当地のライスワインだった。日本にも酒があると話が盛り上がることに。アルコール濃度が日本酒は20%少々だが当地は50%と。火をつけると燃えたのには驚き（図12）。

また、音楽については、

音楽のリズムと手の動き、ステップは、隣接するインドの影響が強いようだ。しかし、穏やかで素朴、ナマステの心が伝わってくる。優しさが、兼ね備わっているように思われた（図13）。

松任谷由実 (Yuming) も訪問したハズと思いつつ、音楽と舞を拝見できた。

日本人の精神性には靈の山・富士山がある。同様に、ネパール人にもエベレスト (Everest, Sagarmatha, 8848 m) が神聖で特別なのだ（図14）。自分の目で確かめ撮影でき、感慨深かつた。心のエネルギーを静かに燃やす人々の宗教性、崇高性にも関係しているのであろう。

今般、ネパールの素晴らしい文化や精神に触れ、我が国の歴史的・経済的国際貢献を知ることができ、有意義な旅となつた。



図12

Fossil skull with both mandibular ramii (lower jaw) of ARCHIDISKODON PLANIFRONS
an extinct elephant from the Siwalik Hills of Rato Khola area, Eastern Nepal.
This very large elephant roamed the foothills of the Himalayas between 3 to 1 million years (collected and excavated by G. Corvinus)



図13

エベレスト

日本人の精神性には靈の山・富士山がある。同様に、

ネパール人にもエベレスト (Everest, Sagarmatha, 8848 m) が神聖で特別なのだ（図14）。自分の目で確かめ撮影でき、感慨深かつた。心のエネルギーを静かに燃やす人々の宗教性、崇高性にも関係しているのであろう。

今般、ネパールの素晴らしい文化や精神に触れ、我が国の歴史的・経済的国際貢献を知ることができ、有意義な旅となつた。



図14

（板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト）